

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(2020~2024年度)

人口ビジョン

- ・2015.10策定
- ・2019.12時点修正作業中

○ビジョンの概要

人口動向と将来推計人口による現状分析、人口減少の現状と課題を整理し、将来の展望を提示。

○総合戦略の実行による目標人口

※()内は、将来推計人口

- ◆2025年度 目標人口 91,000人(89,294人)
- ◆2030年度 目標人口 88,000人(85,825人)
- ◆2040年度 目標人口 83,000人(78,205人)

※【更新作業中】新たに公表された統計等による2019年度版ビジョンのポイント

- ・将来推計人口
当市人口の減少傾向は続いているが、減少する時期は前回推計より遅くなっている(2018年3月社人研)。
 - ◆2025年度時点 推計人口 前回89,294人⇒90,404人
 - ◆2030年度時点 推計人口 前回85,825人⇒87,326人
 - ◆2040年度時点 推計人口 前回78,205人⇒80,303人

- ・合計特殊出生率 作業中【P】

基本目標と数値目標

①新たな雇用を生み出す

- ◆生産年齢人口に占める就労者数の割合:2024年度までに2.5%増(現状20.6%)
- ◆認定農業者数:新たな認定農家の掘り起こしと育成により現状維持を図る(現状280人)

②移住定住の促進とともに、関係人口を拡大する

- ◆社会増減数:5年間で1,500人増(2018年262人増)

③安心して出産し子育てできるまちをつくる

- ◆自然増減数:現状の水準を維持(2018年523人減)

④人口減少社会においても安心して暮らし続けることのできるまちをつくる

- ◆安曇野市に住みたいと思う市民の割合:増加(2018年度75.9%)

主要施策とKPI

○商工業の振興

- ◆5年間で新規起業者14人
- ◆地域未来投資促進法を活用した「あづみ野産業団地」の拡張等により企業7社を誘致
- ◆テレワークセンター登録者数100人達成

○観光の振興、戦略的な地域ブランドの創出

- ◆観光消費額2018年比毎年度4億円以上増
- ◆外国人延宿泊者数毎年度1,000人増

○農林水産業の振興

- ◆新規の就農者50人
- ◆林業従事者4人増

○移住・定住の促進

- ◆市等の移住支援による移住者毎年度5人増(現状65人)
- ◆新規就労・移住マッチング20人
- ◆コミュニティスクール【P】

○交流活動の推進

- ◆観光客の再来訪率(3回以上)増加(現状73%)
- ◆農家民宿の年間受入生徒毎年度50人増(現状1,350人)
- ◆産直センター販売強化毎年度50万円販売額増
- ◆観光消費額2018年比毎年度4億円以上増

○出産・子育て支援の充実

- ◆出産・子育てがしやすいまちと思う市民の割合増加(2018年度38.3%)
- ◆乳幼児健診平均受診率毎年99%を維持
- ◆放課後児童クラブの小学6年生までの受入拡大2024年度末時点で2校(現状小学4年生まで利用可)

○労働・雇用対策の推進

- ◆松本ハローワーク管内若年層就職率【P】

○協働によるまちづくりの推進

- ◆区への加入世帯数5年間で261世帯増
- ◆市民活動センター活動団体取材件数250件
- ◆地区防災訓練実施率毎年度70%以上を維持

○秩序あるまちづくりの推進

- ◆立地適正化計画に基づく居住誘導区域内の新築件数割合 割合の増加(現状区域39%)

○スポーツ活動の充実

- ◆自転車活用推進計画の策定
- ◆スポーツを楽しめる環境が概ね整っていると思う市民の割合:現状以上(2018年度28.5%)

具体的取組(事業)

○魅力ある個店や商店街づくりに向けた起業支援・人材育成

空き店舗対策、創業実現セミナー、新たな人材育成システムの検討・稼働

○雇用拡大に向けた工場用地の造成、テレワークの推進

あづみ野産業団地拡張事業、遊休工場用地の活用、テレワークセンター運営

○観光地経営体制の強化、地域資源活用コンテンツの開発・発信

持続可能な観光地経営に向けた体制づくり・人材育成、インバウンド・登山愛好者等受入体制の整備、体験型観光・滞在周遊型観光の推進、地域資源「天蚕」振興

○農地の遊休荒廃化の防止、健全な森林の維持

就農相談会、各種就農支援制度、農業経営へのICT導入、松くい虫対策、森林環境譲与税活用等による森林整備の推進

○官民連携での移住支援の推進

首都圏での移住セミナー、移住希望者対象の市内体験ツアー、移住相談、UIターン就業・創業移住支援事業、おためし住宅、空き家バンク、空き家の利活用方策の検討

○安曇野ファン拡大に向けた交流の推進、魅力発信

交流事業の推進、観光体験プログラムの開発、時事・旬のイベント開催、ネットワークを生かした情報発信の強化

○農家民宿の充実、首都圏への市内農産物等の販売強化

農家民宿受入拡大、産直センター業務の拡充、首都圏・友好都市・海外販路の開拓

○コミュニティスクールの推進

【P】

○結婚に対する支援

出会いの場となるイベント・セミナー開催、お見合い、個別相談、少子化対策の検討

○妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

相談窓口・産後ケア、健診・訪問・相談等の母子保健事業、関係機関との連携、不妊・不育症治療費助成制度

○信州自然型保育の推進

公立認定こども園の全ての園での信州自然型保育の推進、自然保育に特化した園の導入、幼児教育無償化対象外となる子どもへの支援、児童館事業の見直し、民間子育てサークルへの支援、放課後児童クラブの受入拡充の検討

○若い世代、女性の経済的安定

実践型業務研修による正社員化支援

○協働の実践、区への加入促進、自主防災組織の強化育成

マスコットキャラクターの活用や区長会便り等による区への理解促進、市民活動サポートセンターによる各種団体の活動紹介・団体相互の交流促進、地域自主防災組織が担う「共助」の強化

○都市のコンパクト化推進と交通ネットワーク形成

駅や支所を中心としたコンパクトなまちづくり、駅の利便性向上、公共交通のあり方検討

○スポーツ活動の充実

サイクリングコースの設定、自転車による健康づくり実証実験、自転車活用推進計画の策定、民間事業者のノウハウを活用したスポーツ教室やスポーツイベントの開催